

乾燥 漆風呂に1週間ほど入れて乾かす。

12 粉を生漆で固める



ガラス板に生漆を出して筆にテ
レピン油を混ぜた生漆を少量と
り、筆洗いの用のヘラでやさしく
しごいて筆の油を落としながら、
生漆に筆を馴染ませる。新たに
生漆を出して筆全体に含ませる。



錫粉を蒔いた線の上をな
ぞるように筆で生漆を薄
く塗る。



内側も同様にして錫粉の上をなぞるように
生漆を薄く塗る。

すぐにティッシュペーパーを当てて押さえるよう
にして表面の生漆を拭きとる。

乾燥 漆風呂に1週間ほど入れて乾かす。

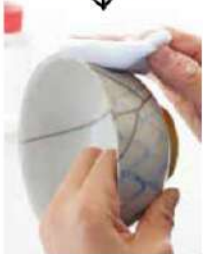
13 研いで磨いて仕上げる



耐水ペーパー#2000に水をつけて
力を入れすぎずにざらざらした質感を
消すイメージで研ぐ。このとき、耐水
ペーパーを小さく切った消しゴムに巻
くと掴みやすく、力の加減もしやすい。



磨き粉と菜種油を薬指につけ、指や手の柔らかい部分の摩擦熱で磨く。



仕上げにセーム革で磨き上げてよい。磨いた後
は養生のテープなどを取り除き、器をきれいにす
る。ペンジン系をウエスにつけて汚れを拭いてもよい。



でき上がり!

縮みの見所

バラバラに割れてしまった「飯茶碗」

▶ 全体的に描かれている青い模様の色味と相性のよい錫粉で仕上げた。

薬指のつけ根をパレットに!

磨き粉と菜種油はガラス板に少量出して薬指につけ、手のひらの膨らんだところをパレットがわりにして馴染ませる。

粉固めのポイント

生漆の拭き残しがあると、次の段階の研ぎの作業が大変に。ティッシュペーパーなどで押さえても何もつかなくなるまで、ていねいに拭きとること。